

令和7年度 学校評価報告書(松山市立幼稚園統一様式)

幼稚園番号	
幼	3

【評定】 4:とても思う(あてはまる) 3:やや思う(あてはまる)
2:あまり思わない(あてはまらない) 1:全く思わない(あてはまらない)

松山市立 石井 幼稚園

【総合判定】 A:肯定率の平均が90%以上
B:肯定率の平均が60%以上90%未満
C:肯定率の平均が60%未満

園長 永木 泰造

※ 肯定率とは、評定(%)の評定4と評定3の合計値です。 ※ 色が付いているセルのみ入力してください。

評価領域	評価指標	総合判定	対象	肯定率	評定(%)				評定平均	○成果 もしくは ◆改善策
					4	3	2	1		
教育方針・教育計画	幼稚園は、教育目標や重点目標にそった教育活動を行っている。	A	教職員	100	50	50	0	0	3.5	○あらゆる機会を捉えて教育方針・計画等の保護者への周知を図るとともに、教職員が共通理解し、PDCAサイクルを繰り返しながら、教育活動の質の向上に取り組むことができた。 ○日々の教育活動の評価・改善を行い、個や発達に応じた指導に生かすことができた。発達や課題を全職員で多面的に捉え、見直しをもった教育・行事を実施することができた。 ○豊かな心の育成を目指し、全職員で様々な遊びに関する意見交換、解析を通して、適宜環境の再構成や援助の見直しを行うことができ、総合的な指導につながった。 ○地域での米作り体験、スポーツ選手との交流等を通して、様々な人と関わり、地域とつながる良さを感じることができた。◆対象をより幅広く設定した体験活動を検討する。
			学校関係者	97	73	24	3	0	3.7	
	幼稚園は、幼児理解に努め発達段階に即した教育・行事を行っている。	A	教職員	100	70	30	0	0	3.7	
			学校関係者	97	71	26	3	0	3.7	
	幼稚園は、遊びを通しての総合的な指導を行い、援助・環境構成の改善に取り組んでいる。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	
			学校関係者	100	76	24	0	0	3.8	
	幼稚園は、地域に根ざした特色ある教育を行い、郷土を大切に思う幼児の育成に努めている。	A	教職員	100	20	80	0	0	3.2	
			学校関係者	100	83	17	0	0	3.8	
人権・同和教育	幼稚園は、人権・同和教育の視点に立ち、一人一人を大切に、自分も友達も大事にする意識や態度を育てている。	A	教職員	100	50	50	0	0	3.5	○異年齢間で自然な関わりができるよう働き掛けるとともに、個々の良さを認め、幼児が互いを受け入れ合える場づくりに努めた。幼児の意識や態度の寛容につながった。
			学校関係者	100	74	26	0	0	3.7	
安全管理	幼稚園は、幼児にけがや事故防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	A	教職員	100	20	80	0	0	3.2	○定期的な点検、終礼時のヒヤリハット事例の共有を通して、園内外の安全管理・指導に努めることができた。◆研修等により教職員間の共通認識の場を保障する。
			学校関係者	95	68	27	5	0	3.6	
保健管理	幼稚園は、家庭と連携をして個々の健康状態を確認するとともに、健康、安全な生活に必要な習慣や態度が身に付くように指導を行っている。	A	教職員	100	50	50	0	0	3.5	○保護者と連携し健康状態の把握に努め、毎日継続的に指導を行うことができた。◆感染状況の情報提供が明確になるよう掲示等を工夫し、健康に関する啓発を充実させる。 ○感染状況に応じて、室内換気や手洗いを励行し、幼児が必要感をもって取り組むことができた。◆必要に応じ、適切な対応ができるよう最新の情報収集に努める。
			学校関係者	91	64	27	7	2	3.5	
	幼稚園は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を必要に応じて行っている。	A	教職員	100	50	50	0	0	3.5	
			学校関係者	91	64	27	7	2	3.5	
特別支援教育	幼稚園は、幼児一人一人の特性に応じた配慮や指導を適切に行っている。	A	教職員	100	30	70	0	0	3.3	○特性に応じて環境を工夫し、保護者や関係機関と連携を図り、個に応じたより良い支援に努めることができた。◆特性の多様化に伴い、研修を通じてスキルアップに努める。
			学校関係者	95	76	19	5	0	3.7	
教師間連携	幼稚園は、教職員間で共通の目的に向かって協力的に保育に取り組んでいる。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	○教職員が話し合い、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けた。経験年数に応じた役割を生かし、共通の目的や課題解決に向けて理解し、協力して保育に取り組むことができた。
			学校関係者	100	80	20	0	0	3.8	
研修	幼稚園は、様々な教育課題への対応に向けて、積極的に研修に取り組んでいる。	A	教職員	100	70	30	0	0	3.7	○園内研修を通して、指導方法や幼児理解等について課題意識をもち研鑽を積んだ。園外開催の研修会等の参加報告を行い、園全体の指導力の向上を図ることができた。
			学校関係者	100	79	21	0	0	3.8	
保護者・地域との連携・情報提供	幼稚園は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	A	教職員	100	10	90	0	0	3.1	○保護者が安心して相談できる信頼関係づくりに努めた。地域の実態把握に努め、円滑な連携・協力ができた。◆教職員のコミュニケーションスキルのさらなる向上に努める。 ○クラスだよりやHP等の適宜更新、活動内容のスライドショーなどにより発信してきた。入園希望者にとっても園選びの一助となった。◆Instagramの情報更新に努める。
			学校関係者	97	64	33	3	0	3.6	
	幼稚園は、園だよりやクラスだより、ホームページ、Instagram等により積極的に情報を発信している。	A	教職員	100	40	60	0	0	3.4	
			学校関係者	90	68	22	10	0	3.6	
幼保小連携	幼稚園は、小学校への円滑な移行に向けて、学びの連続性を保障するために関係園・校で連携を図っている。	A	教職員	100	60	40	0	0	3.6	○小学校・保育所と、意図的・計画的な交流を実施することができた。◆石井地区幼保小連携協議会の活動を推進し、連続性のある教育の一層の具現化を図る。
			学校関係者	98	80	18	2	0	3.8	
子育て支援	預かり保育は、幼児の生活リズムを踏まえ、無理のない活動を取り入れつつ、保護者ニーズに対応している。	A	教職員	100	30	70	0	0	3.3	○保護者ニーズに対応し、家庭的な雰囲気の中で、個々のペースを大切にしながら無理なく活動できた。◆利用者が増えており、落ち着いた環境づくりの配慮、見直しに努める。 ○「わくわく広場」(年16回開催)に加え、毎週金曜日、保育室を開放し、未就園児親子が集い、楽しめる場を提供した。◆イベント内容や実施回数等を検討し、さらなる充実を図る。
			学校関係者	94	79	15	6	0	3.7	
	幼稚園は、地域の子育て支援の充実に向けて取り組んでいる。	A	教職員	100	90	10	0	0	3.9	
			学校関係者	97	62	35	3	0	3.6	